

おしどりミニだより

最近皆さんと歌う曲が秋の歌に変わりました。「村祭り」の大合唱の後は昔行ったお宮さんのお祭り話で時がタイムスリップします。季節が変わり気温の変動も激しくなります。皆様も健康管理には気を付けてお過ごしください。



近江ちいろば会
デイケアの家おしどり
地域密着型デイサービス

2018年10月



自立支援 機能訓練II

2018年の介護保険の改定では「自立支援」という事が大きな変化の一つです。この改定に合わせ、お一人お一人がその能力を発揮し、生きることによって喜びをもって生活していただけるようにとおしどりも「自立支援」を目的に挙げさせていただきました。具体的には5月から理学療法士と協力しリハビリ（機能訓練II）を開始いたしました。

すると次のような効果をご本人と共に私たちスタッフも感じました。

Aさんは病気治療のための入院で下肢筋力が低下し車いすでの退院となりました。

デイサービス利用初期は緊張もあつてか表情も硬く、会話、笑顔も少なく職員も気がかりでした。しかしデイサービスでスタッフや他の利用者と会話を重ねていくうちに、Aさんは次第に会話や笑顔に心を和まされて、自分から沢山話をされるようになりました。

その会話の中に家族やお孫さんの話が良く出てきます。家ではお孫さんが良く世話して下さるらしく、「孫の為にも早く自分で歩けるようになりたい、以前のように家の周りを散歩し、買い物にも行きたい」と強く願われ、自分の目標をはっきりと伝えられリハビリの開始となりました。家族の応援は、Aさんにとって大きな支えになっていました。

リハビリを開始された時は床から足が上がりず、すり足で歩いておられました。しかし2か月訓練した今では、足が床から上がり始めていることがはっきりわかります。そのことは周りの皆さんの「すごいね！」という言葉と共にご本人も大変喜ばれてリハビリにもますます意欲がでます。

リハビリは体を動かすだけではなく、気持ちと一緒にすることでより成果が上がると感じます。介護職員はご家族、PT、看護師と連携し『励ましや、声掛け、共に喜び合う』ことを通してご本人のリハビリを支えて行くことが大切だと考えています。人との交流、温かい応援によって気持ちに張りが出てきます。たくさんの仲間いる場所でリハビリを継続することがリハビリの成果に繋がることを私たちは確信しています。



生活リハビリ

生活リハビリは自立・自律支援を目的としています。デイサービスで、今出来ることを見つけて経験し、自宅に帰っても同じようにできることが自立・自律支援だと考え日々取り組んでいます。おしどりではこの生活リハビリに夢や希望を見出し「生きる」力を持っていただきたいと云う目標を持っています。



お彼岸におはぎを作りました。調理が得意な方が腕を振るって下さっています。又、出来た昼食を盛り付けて下さっています。生活に即したリハビリで皆さんがイキイキされる一場面です。



昼食時に使うランチョンマットのアイロンを当てて下さっています。アイロンが当たることで気持ち良くて食事が益々美味しくなります。



誕生表の制作です。広告紙をちぎって貼って下さっています。おしどりの誕生表は毎月皆さんの手作りです。

「出来る事は手伝うよ」という心強い言葉。食後の食器を集めて種類別に重ねて下さいます。



習字教室

お習字の先生が来て下さいました。秋を表現した字を書かれています。「難しいな」と言う言葉の中思い切って表現することで素晴らしい作品が出来ました。

